



# アベノミクスを継承する新しい資本主義って？

## 異常な金融緩和

異常な円安は諸外国の金融政策と真反対の金融緩和の結果。インフレに、日銀総裁は「日本の家計の値上げ許容度も高まっている」と歓迎。庶民生活無視。

超低金利継続で庶民も住宅ローンだけは助かるが、将来に備える預金に利子は無い。

これはバブル崩壊で大企業が抱えた巨額の不良債権の金利負担救済の為。庶民には預金の利子を払わず大企業に回したのだ。

皆さんの財布から10%奪うのが消費税。一方、法人税、所得税(最高税率を下げた)の減税分と消費税収がほぼ同じ。つまり「福祉目的の消費税」と云って庶民から取り、大会社、大金持ちに回した。福祉に回さないから福祉は毎年切り下げ。

## 労賃切り下げ

企業は正規雇用を派遣に置き換えて、賃金を切り下げ。そればかりか「実習生」の名目で外国人労働者を超低賃金で使用。OECDによると、二〇一八年迄の11年に日本の時給は8%減、英米仏独は93%増、韓国は167%増加(二・六七倍)。

## 海外進出でも

金利負担殆どゼロの資金で、労賃の安い海外に工場を設置。

日本の労働者の仕事を奪って海外で儲ける。結局、昨年九月企業内保留保は四八四兆円。

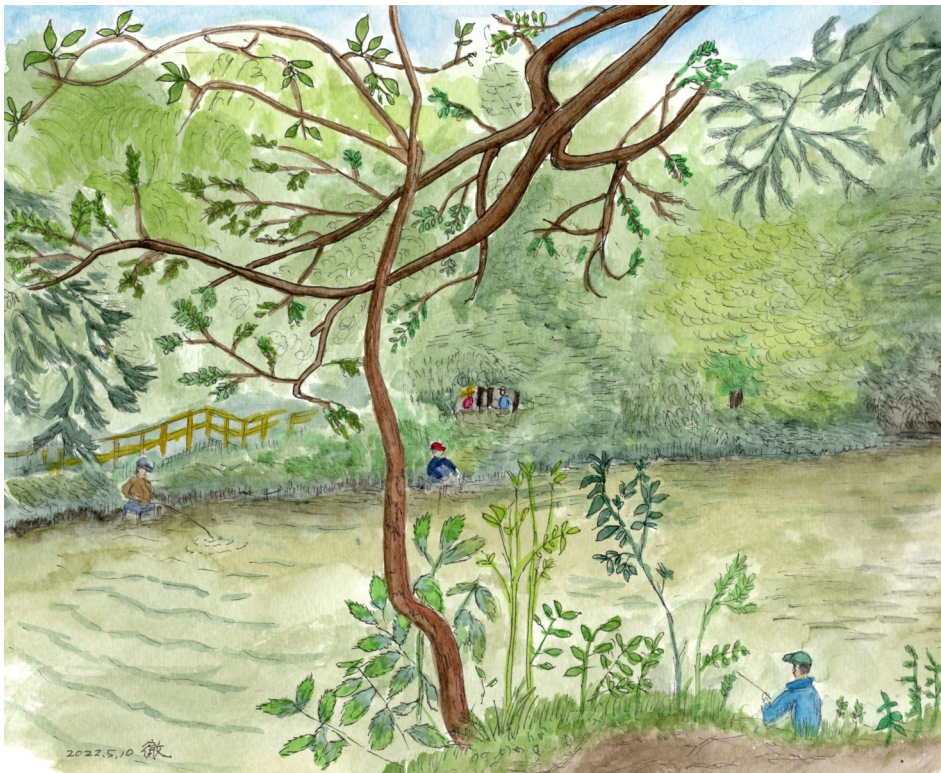
庶民から大企業大金持ちに回す、これが岸田が継承するアベノミクス、新しい資本主義ではありませんか？

あなたはどう思われますか？

## 震生湖

秦野市今泉・足柄上郡中井町境別所

二〇二二年五月



「震生湖」は小田急秦野駅の南東、徒歩30分の大磯丘陵にある。

関東大震災の時、市木沢の北斜面が二百mに亘り崩壊。沢を堰き止め、周囲一・五kmの震生湖が誕生。全国で最も新しい天然の湖だ。

こういう堰止湖は、大雨が降ると決壊の心配が生ずる。幸い流域が狭く決壊せずに残った。

周辺は広葉樹林。小さな湖なのでゆっくりと回ることが出来る。林の中を飛び交う小鳥が賑やかにさえずる。

ヘラブナを目指す釣り人が湖岸に陣取る。湖から西に続く渋沢丘陵を渋沢駅に向かって歩く道がある。森の中の静かな道。ある所で急に視界が開ける。

秦野の扇状地と市街が見え、遠くに鍋割山、塔ノ岳、二の塔、三の塔、大山など丹沢山地が一望できる。

職場美術展が6月23〜30日に東京都美術館で開かれ、ジジ通信の原画などを出品します。展覧会観覧ご希望の方には招待券を送ります。

